

第1編 総論

第1章 計画の基本的な考え方

1 計画改定の背景と趣旨

国や県においては、健康寿命^{※1}の延伸や生活の質^{※2}の向上、さらには、健康格差の縮小を目的とした「健康日本21」や「富山県健康増進計画」が策定され、さまざまな関係機関の連携により社会全体で個人の主体的な健康づくりを支援する取り組みが行われてきました。

本市においても、健康増進計画として、平成15年3月に「高岡いきいき健康プラン21」（平成15年度～24年度）を、平成25年3月に「健康たかおか輝きプラン」（平成25年度～29年度）を策定し、市民が健やかで心豊かな生活が送れるよう、健康づくりの総合的な取り組みを推進してまいりました。

この間、本市の状況として、国や県を上回って高齢化が進み、平成29年4月時点の65歳以上の高齢者の割合は、32.1%となっています。その一方で出生数は、「高岡いきいき健康プラン21」策定時の平成15年に比較し、近年では約2割減少しており少子高齢化が進んでいます。また、平成23年から28年において、本市の平均寿命と健康寿命は、ともに延びているものの健康寿命の伸びは、平均寿命の伸びに比べて、男性は少なく、女性は同程度です。さらには、がんや糖尿病等の生活習慣病を持つ人が増加していることや、青壮年層で依然として好ましくない生活習慣がみられる等の課題があります。

これらを踏まえて、市民一人一人が、生活の質を高め、健康寿命を延ばし、できるかぎり健康で自分らしい生活を送ることができる豊かで活力ある社会を実現・維持していくために、今後の重点取り組みを柱とした「健康たかおか輝きプラン(第2次)」（平成30年度～34年度(2022年))を策定します。

2 「健康たかおか輝きプラン」(平成25年度～29年度)の目標・評価

「健康たかおか輝きプラン」では、「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を基本目標とし、その実現に向けて、市民の健康状態を示す「健康指標」と市民の意識や行動等を示す「行動指標」及び市民を取り巻く環境に関する「環境指標」に主眼を置いた計90項目を設定し、それらの評価を行い、取り組みに反映してきました。なお、主な指標に関する改善状況等については次表の通りです。

〔目標値の推移〕基本目標

	基準値(H22年度)	H28年度	目標値(H28年度)
健康寿命の延伸	男性77.43歳	78.06歳	78歳
	女性81.85歳	82.77歳	82歳

(公衆衛生ネットワーク 切明義孝氏による「介護保険制度を利用した健康寿命計算」により障害期間の分子を介護保険の要介護2～5の認定者と規定して試算)

※1 健康寿命: 一生涯のうち、健康で自立して生活できる期間のことをいいます。

※2 生活の質: 疾病や障害の有無に関わらず、人が充実感や満足感をもって日常生活を送ることです。

改善がみられた主な指標

指 標	基準値 H23 年度	H28 年度	目標値 H28 年度
中学生の肥満傾向児の割合	8.9%	7.0%	減少
80～84 歳の要介護 2 以上の人の割合	14.5%	13.4%	減少
3 歳児でむし歯のない子の割合	77.9%	80.9%	80.0%
12 歳児の一人平均う歯数	1.67 本	1.25 本	1.5 本
40～74 歳までの女性のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(国保)	19.8%	19.3%	減少
3 か月児健康診査の父親の喫煙者の割合	42.6%	36.5%	37.0%
3 か月児健康診査の母親の喫煙者の割合	4.9%	2.0%	4.0%
ストレス対処法をもつ人の割合	61.0%	67.7%	63.0%
高岡型地域福祉ネットワークづくりの実施地区数	(-) 地区 (H22 年度)	27 地区	27 地区
子育て、障がい者、高齢者等の相談件数(延)	24,935 件 (H22 年度)	42,201 件	30,000 件
健康づくり活動への参加者数	66,450 人 (H22 年度)	99,405 人	100,000 人
中心商店街(6 地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値	11,648 人 (H22 年度)	14,949 人	14,000 人
体育施設の利用者数(延)	708,049 人 (H22 年度)	844,951 人	750,000 人
一般介護予防事業の参加者数(延)	49,843 人 (H22 年度)	78,573 人	60,000 人
認知症サポーター養成数(累計)	5,323 人	14,538 人	8,500 人

改善がみられなかった主な指標

指 標	基準値 H23 年度	H28 年度	目標値 H28 年度
小学生の肥満傾向児の割合	7.1%	7.3%	減少
1 か月児の母乳育児率	63.7%	63.3%	66.0%
20～39 歳男性の朝食をとらない人の割合	21.0%	22.1%	18.0%
20～39 歳女性の朝食をとらない人の割合	11.1%	12.2%	9.0%
野菜を必要量(350g)食べている人の割合	57.4%	49.5%	60.0%
休肝日を設けている人の割合	78.6%	76.0%	増加
健康づくりのためにからだを動かしている人の割合	62.2%	62.0%	70.0%
乳がん検診受診率	34.5%	26.5%	38.0%
20～29 歳までのやせている女性の割合	17.1%	31.1%	15.0%
40～74 歳までの男性のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(国保)	46.6%	49.0%	減少
子育てに自信がない母親の割合	27.2%	29.6%	減少
スポーツ教室の参加者数(延)	49,610 人 (H22 年度)	44,439 人	52,000 人

※ HbA1c (ヘモグロビン・エーワンシー): 過去1～2か月の血糖値の状態がわかる値で、糖尿病の診断や治療・管理に用いられます。

3 計画の目標体系と考え方

「健康たかおか輝きプラン」(平成 25 年度～29 年度)の基本理念及び基本目標を継承します。

計画の目標体系

基本理念

**健やかに自分らしく輝き、
元気と笑顔があふれるまち 高岡**

基本目標

「健康寿命の延伸」「生活の質の向上」

重点

取り組み

- ① 望ましい生活習慣の確立と生活習慣病の発症予防**
- ② 生活習慣病の重症化予防**
- ③ 住む人が健康になるまちづくり**

(1) 基本理念

「健康たかおか輝きプラン」(平成25年度～29年度)策定時において、約3,000件の市民の叶えたい夢、ありたい姿を集約した、「健やかに自分らしく輝き、元気と笑顔があふれるまち 高岡」の実現を引き続き目指します。

(2) 基本目標

「健康寿命の延伸」「生活の質の向上」

- 平均寿命の伸びを上回る健康寿命の伸びを目標とし、不健康な期間が短縮することを目指します。
- 早世の予防*及び生活習慣病予防、介護予防をより一層推進し、健康寿命の延伸を目指します。
- 疾病や障害の有無に関わらず、充実感や満足感をもって日常生活を送ることができるよう努めます。
- 市民一人一人が社会参加し、支え合い、つながりを深めるとともに、多様な主体が健康づくりに取り組むことにより個人の健康や生活を支える社会環境整備を進めます。

(3) 重点取り組み

これまでの「健康たかおか輝きプラン」の取り組み課題を踏まえ、次の3本柱について重点的に取り組みます。

※ 早世の予防:高齢になる前、若くして亡くなることを防ぐことです。

① 望ましい生活習慣の確立と生活習慣病の発症予防

青壮年期の望ましい生活習慣づくりに重点を置き、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「歯の健康」「タバコ」「心の健康・休養」の項目ごとに目標値や具体的取り組み方法を示し、生活習慣病の発症予防に取り組みます。

また、妊娠期から思春期までの「次世代」、「高齢期」の世代毎の課題に応じた健康づくりを推進し、全世代を通じ「人とのつながり」や「地域とのつながり」を深め一人一人の健康を支える取り組みを進めます。

② 生活習慣病の重症化予防

三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）による死亡者は、死亡者全体の半数以上を占めていることに加え、国・県に比較し、がん、脳血管疾患の死亡率や糖尿病の有所見者割合、喫煙率が高い等の状況を踏まえ、「がん」、「循環器疾患」、「糖尿病」、「慢性閉塞性肺疾患（COPD）※」の項目毎に病気の発症予防及び、早期治療や治療継続により重症化予防を図ります。

③ 住む人が健康になるまちづくり

市民一人一人の健康を支える環境づくりは、社会の様々な分野の連携と協力による総合的な取り組みを推進することが重要です。健康への関心が低い人や、関心があっても仕事や家事などで忙しく健康づくりに取り組めない人も、誰もが住んでいるだけで健康づくりが実践でき、豊かな生活を送ることができる「健康なまち高岡」を目指します。

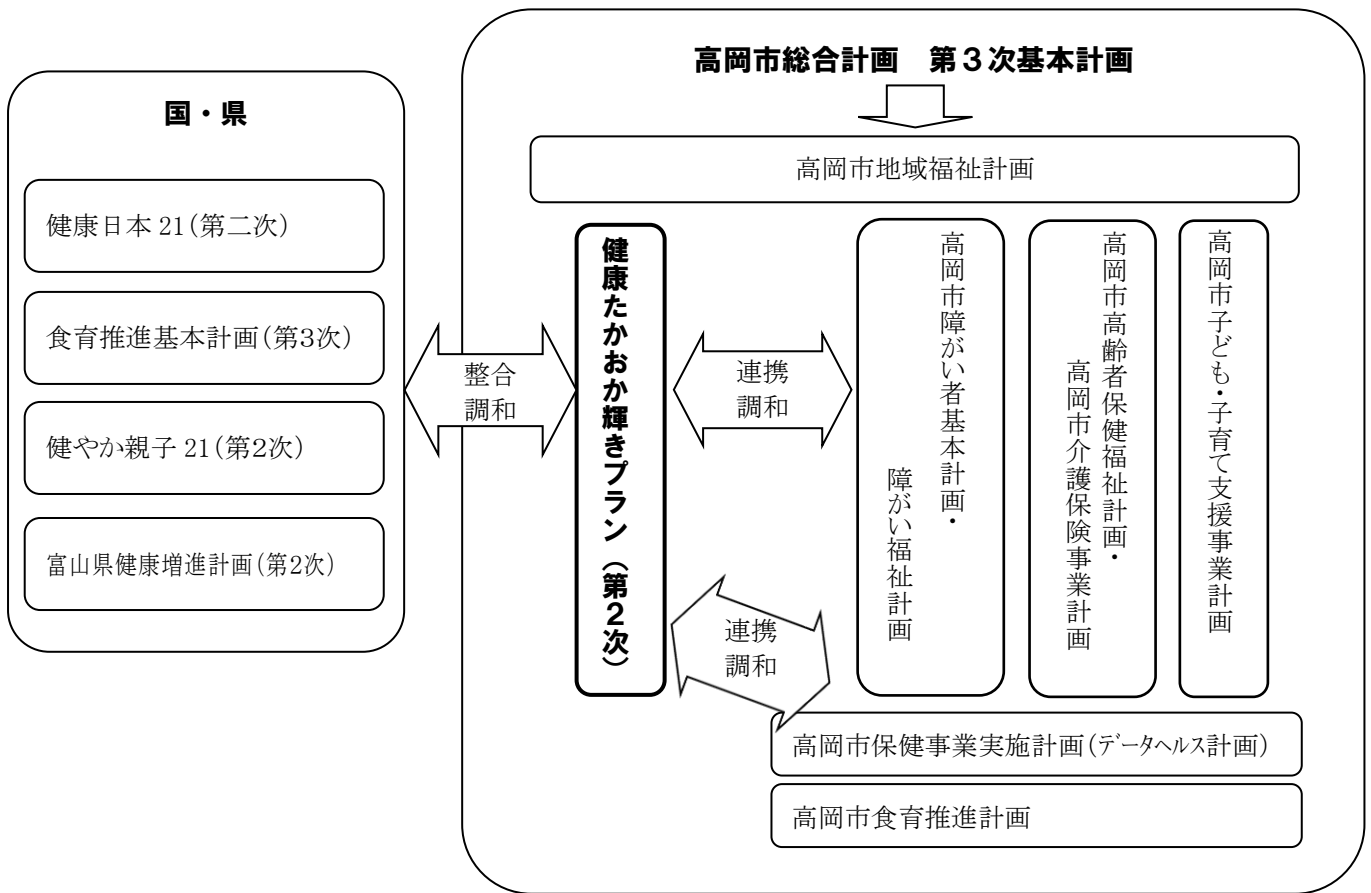
健康づくり活動を通じ、人と人とのつながりや地域の組織・団体間のつながりを築く地域ぐるみでの健康づくりボランティア活動の推進や、行政内部・官民の連携を図り、幅広い社会資源を活かした取り組みを進めます。

4 計画の位置付け

本計画は、健康増進法第8条の規定に基づく市町村健康増進計画とし、国の「健康日本21（第二次）」、「食育推進基本計画（第3次）」、「健やか親子21（第2次）」、富山県の「富山県健康増進計画（第2次）」と整合性を図ります。

市の「高岡市総合計画 第3次基本計画」を推進するための行動計画とし、「高岡市地域福祉計画」や「高岡市子ども・子育て支援事業計画」、「高岡市食育推進計画」等、各分野の計画との調和・連携を図ります。

※ 慢性閉塞性肺疾患(COPD):長年の喫煙が主な原因となり、肺や気管支の組織が壊れて呼吸がうまくできなくなってしまう病気で、別名「肺の生活習慣病」「タバコ病」とも呼ばれています。(COPD: Chronic obstructive pulmonary disease)



5 策定体制

計画策定に際して、広く市民が参画し、市民の意見を反映することが重要です。そのため策定にあたっては、28 地域健康づくり推進懇話会や健康づくりボランティア団体ほか関係団体、市内企業などにおける意見交換会を実施したほか、パブリックコメントの収集を行いました。これら市民等の意見を踏まえ、高岡市健康づくり推進協議会の専門部会である「高岡市健康増進計画策定部会」で協議を重ねました。

6 計画の期間

本計画は、平成30年度から平成34年度(2022年)までの5か年とします。

